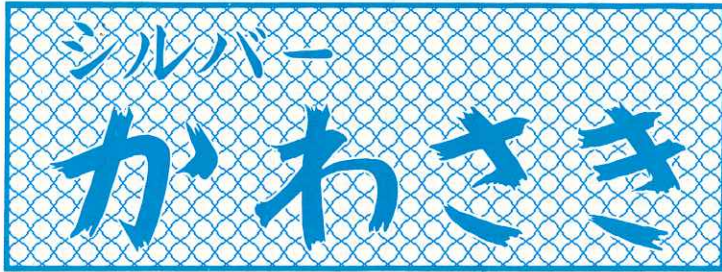


(財)シルバー人材センター川崎市生きがい事業団会報



平成2年1月1日

創刊号

財団法人 シルバー人材センター
川崎市生きがい事業団

川崎市川崎区境根34番1
電話 044 (222) 1550



本部兼南部事務所全景



新年並びに会報創刊号の
発行にあたって

理事長 保谷 三郎

平成二年の新春を迎え、シルバー人材センターの会員の皆様方並びに本事業の運営にご協力を賜っております市民、

事業所、各団体及び関係行政機関等の皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。
当シルバー人材センターの事業も川崎市並びに各関係機関のご支援とご協力により一段と進展を見せ、昭和五十五年八月「川崎市高齢者

生きがい事業団」として発足して以来、満十年を迎えようとしております。

発足した当時は、何から手をつけ、先行きどうなることかと大変心配しましたが、幸にも事務局職員の苦勞と努力により、会員数並びに事業実績は逐年増加し、発足当時に比して約十倍の躍進を見せておりますのは、一重に皆様方のご協力の賜と深く感謝いたしております。

皆様方もご承知のとおり、近年における人口の高齢化は、世界に例を見ないほど急速な勢いで進行しており、二十一世紀に向けて本格的な高齢社会を迎えようとしておりますが、シルバー人材センターの果たす役割は益々重要なものになると思われれます。

当シルバー人材センターにおいても高年齢者の就業意欲は非常に高いものがあります。会員の皆様方におかれましては、「人生八十年時代」と呼ばれているこの長寿社会において、

長年の間に培ってきた知識、経験、能力を有効に活用して、今後益々健康で生きがいのある老後生活を確保する必要があると考えております。

幸にも、当シルバー人材センターの本部兼南部地域生きがい事業団の事務所が昨年の五月、川崎市をはじめ各関係機関のご協力により立派に完成いたしました。発足当時より川崎市福祉センター内の一部を借用しまして事業運営して参りましたが、その間、会員の皆様方並びに各関係機関の皆様方にご不自由をおかけしましたことを、申し訳なく思っております。事務所内には、軽作業室、動作作業室、和室、会議室等があり、現在、会員が楽しく仕事に取り組んでおります。

また、懸案でありました会報「シルバークワサキ」も、ようやく創刊する運びとなりました。会員の皆様方には、この会報を通して様々な情報を提供していきたいと考えております。

最後になりましたが、昭和六十三年四月、シルバー人材センターとして認可され再出発いたしました。会員の皆様方の個々の生き方を尊重し、生きがいのある社会生活と地域への活力を維持し続け

『シルバークワサキ』の創刊に寄せて



川崎市民生局長

森 博

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

本年は、一九九〇年代のスタートの年であり、事業団にとりましても設立以来満十年という節目を迎える年でありますが、この記念すべき年に事業団の会報が創刊されますことは、まことに意義深いものがあります。

さて、事業団は、川崎市社会福祉審議会から「高齢者の福祉的就労対策のあり方について」の答申をいただき、昭和五十五年八月、本市が老人クラブ連合会などのご協力を得て設立いたしました。設立の目的は、高齢者に対して、生きが

られるよう、今後とも一層の努力を重ねる所存でございます。

皆様方のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。新年並びに会報の創刊にあたりましてのご挨拶といたします。

い、社会参加のための「就労の場」の提供などを行うことにより、高齢者自身が「働く」ことを通じて、社会活動への参加や地域社会との連帯感を高めていただくとしたものであります。

その後、高齢化社会への急速な進展のなかで、高齢者の就労ニーズも多様化してきており、その就労機会を拡大することが重要な課題となつてまいりました。

そうした意味からも、昨年四月、事業団が国からシルバー人材センターの指定を受けることにより、従来の事業内容に加えて、臨時的かつ短期的な雇用による就業の無料職業紹介事業や技能研修を実施するなど事業の拡大を図ったところであります。

事業開始以来、市民のご理解とご支援を得て事業団の事業が広く地域に浸透し、逐年拡大の一途を辿っておりますが、現

在、会員数一、五六〇人、昨年度就労延人員五万六千人(日)、契約額二億二千万円にも達しております。これも会員の皆様方をはじめ関係各位のご努力とご尽力の賜ものと深く感謝しております。

今後、人口の高齢化に伴い、健康で就労意欲のある高齢者の大幅な増加が見込まれております。こうした中、高齢者の永年培ってきた職業経験や技能を地域社会で活用していただくシステムとしての事業団の果たす役割は、一層重要になってきており、さらに事業団に寄せられる期待も大きなものとなっておりますので、事業団がますます発展いたしますよう関係者の皆様方とともに努力してまいりますと存じます。

終わりに、皆様方のご活躍を祈念いたしまして創刊のお祝いのごことばといたします。



働らくことの喜びを



事務局長

岡本圭象

新しい年明けとともに、皆様の機関紙『シルバーかわさき』が創刊できましたことを、重ねてお喜び申し上げます。

これからは、会員の皆様と一緒に歩む会報として、より多くの方々のご協力を得て、会員相互のつながりを深めていきたいと存じます。

また、会員の皆様には地域社会の発展に寄与し、何か自分の仕事をして楽しみを分かち合い、心に緊張を持ち人生八十年余、ましてや一世紀の時代を目的を持ってはつらつとした人生を送っていただきたいと思えます。機関紙を通じてもっと多くの会員を募り、大きな広がりやの輪を築いていくためにも、皆様の投稿をお待ちいたしております。

さて、早いもので昨年四月、私が事務局長を拝命いたしましたから九ヶ月余が経過し、当シルバー人材センター川崎市

生きがい事業団も事務局体制の充実を図るために、事務局組織の改革や、独立事務所の開設等、理事長、役員の皆様方のご努力により今日の発展に結びつきました。私も、これまで以上にシルバー人材センターの発展のために、微力ながら事務運営の役割を考えて頑張っていく所存でございます。

世界一の経済大国に導いたシルバー会員の皆様方、エネルギーはまだまだ貯え充分とご推察いたします。得意な仕事、好きな仕事、働くことの喜びの人生を送っていただきたい。そして体に応じた仕事で、心に何かを夢みる張りのある生活を期待しております。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが今年も皆様方にとって、より良い年でありますよう祈念しております。

事務所のご案内

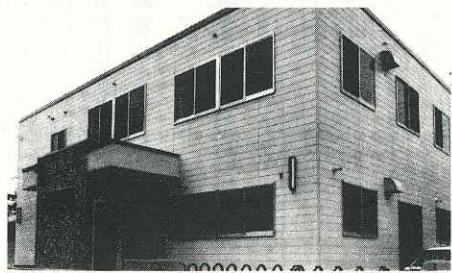
(財)シルバークワサキセンター 川崎市生きがい事業団は、本部と三ヶ所の地域生きがい事業団からなっています。

南部地域生きがい事業団

南部地域生きがい事業団は事業団本部の事業課を兼ね、所長以下四人体制で、会員の皆さんと委託者の方との仕事の連絡調整に当たっております。昨年五月には待望の新事務所が完成し、事業団設立当初よりおりました福祉センターから移転いたしました。

会員の皆さんのご努力で、事業実績も年々増加し、市民の方々にもシルバークワサキセンターの存在をより認識され、理解されてきております。

川崎市は、皆さんご存じのとおり東京



都と横浜市との間にあり、南北に非常に細長く位置しております。その中にあって、当南部地域生きがい事業団は、川崎区・幸区・中原区を担当区域としております。

この地域の特徴としては、中部地域並びに北部地域に比べ老年者が多く、逆に若年層が少なくなっている傾向にあります。住宅も密集し、会社・工場等が多く、将来的に中部・北部に見られるような宅地造成や土地開発の余地はあまり見られない状況です。

当地域事業団では、昨年度一年間に一、一七二件の仕事を請負い、延べ一、四二四人の登録会員が就労し、延べ一万二千日働いたこととなります。

中部・北部に比べ、当地域事業団の会員は七十歳以上の高齢会員が多く、反対に七十歳未満の会員が少ないのが特徴となっております。

本部と

会員の皆さんの高齢化が進む中で、昨今、一部職種の会員不足が深刻な問題となっております。特に技能職関係で、植木・大工・表具・塗装・左官・板金・ブロック・畳職等の技術を持っている方が、皆さんのまわりにおりましたら、シルバークワサキセンターに登録されるようすすめてください。

事業団では、うずもれているあなたの腕を必要としています。

また、草取り・草刈り・清掃等の仕事をしてみたいという健康な方がいらっしゃいましたら、是非一度、各事業団事務所または、区役所事業団相談室にご連絡ください。



中部地域生きがい事業団

こんには、中部地域生きがい事業団です。当地域事業団は、多摩川に沿って縦長の川崎市のほぼ中央、高津区溝口に所在し、市内でも旧くから栄えた溝口を中心とした高津区と、比較的に興住宅地の多い宮前区を担当区域としています。

当地域事業団は皆さんご承知の通り、「健康で働く意欲のある高齢者の皆さんが……勤労を通じて自主的に社会参加することとともに、活力ある地域社会づくりに貢献すること」を目的としています。人生八十年時代にふさわしい自立自助の精神で、積極的に会員として登録し、生きがいのため、充実した生活をおくっている高齢者の方々が多数おられることには、私達も驚いています。そして、そのような人生経験の豊富な、また素晴らしい能力を持った会員の方々とのおふれあいの中から、私達自身にも向上心が生まれ勉強の連続です。

当地域事業団は、その担当区域の高津区に、中小の企業が多いことから、他の地域事業団と比べて企業からの（主に製造手伝い・清掃等）が多いことが特色で

す。

職种的には植木職を始めとする技能職関係、及び草取り・草刈りなどの除草仕事、それに清掃や家事手伝い等の仕事は特に申込みが多く、私達もうれしい悲鳴をあげています。また委託者の方からは「仕事が親切で丁寧」との評判も多くいただいております。



しかし、その反面これらの職種は、その申し込み件数に比べて作業希望者の数には、決して充分ではありません。職種によっては一〜四ヶ月待ちというものもある程です。そしてまた事務系や管理等の仕事は、申込みが非常に少ないので、これらの仕事を希望している会員の方は、就労の機会がなかなか得られません。

このような需要と供給のアンバランスは、当地域事業団のみならず事業団全体の悩みであり、解決すべき問題点です。

特に希望する仕事が見つからず、就労する機会のない会員の方がいることは、私達にしても非常に残念なことです。

私達もより一層、広く多職種にわたる受注開拓等に努め、会員の皆さんが一人でも多く就労の機会を得られるようにしていきたいと考えておりますが、皆さんも希望された職種とは異なった仕事にも挑戦してみたいかがでしょうか。

最後に、前述の「目的」に賛同して登録された会員の皆さんは、「明るい高齢化社会」の実現の先駆者といえるでしょう。そしてその「目的」は、皆さんの熱意と責任感によってこそ達成されるものと私たちは考えます。私たちも微力ながら、会員の皆さんの健康と安全に気を配り、高齢者福祉・住民福祉、そして活力ある地域社会づくりに、全力投球で向かっていきたいと考えております。



北部地域生きがい事業団

会員の皆さんこんにちは、北部地域生きがい事業団です。所在地は、麻生区上麻生三丁目二二ノ一三、小田急線の新百合ヶ丘駅で下車し、徒歩一五分位の所にあります。

当地域事業団は、市内でもたくさんの自然が残っているその半面で、住宅地・商業地として急速な開発が進んでいる多摩区・麻生区を担当しています。



受注件数は、月平均二〇〇件位と、市内でも比較的多い地域となっているため、就労している会員の方たちも、忙しくも楽しい日々を送られていると思います。

受注内容は、技能職・サービス業・軽作業と広範囲にわたっていますが、その反面で、事務・管理



折衝・外交関係の仕事我希望している会員の人は、なかなか就労の機会がないため、今後どのように就労場所を開拓していくかが事業団としての課題となっています。

多摩区・麻生区は一般住宅が多いため他の地域事業団に比べ、植木・草取りなどの申込みが非常に多くなっています。また、空き地なども多いため、機械を使用している草取りも申込みが多くなっています。しかし、植木・草取り・草刈りの申込み件数の割には、このような仕事を希望する会員の人数が少なく、植木は二〜四ヶ月、草取り・草刈りは一〜三ヶ月も委託者の方にお待ちいただいているのが現状です。

この会報を読まれた方の中で、植木・草取り・草刈りの経験をお持ちの方、経験はないが体力に自信があって興味を持たれた方、登録した時の希望職種とは違っても、思い切ってチャレンジしてみませんか？

もし、お知り合いの方でまだ事業団に登録されていない方がおられましたら、是非一度事務所にいらっしやるよう、おすすめてください。私達は、皆さんにより

多くの就労の場を提供して行きたいと思っておりますので、会員の皆さんは「意欲」と「責任感」を持って仕事をしていくことで、人や社会とのふれあいの中からそれぞれの生きがいを見つけていただきたいと思います。

北部の職員一同、皆さんの力になれるよう、より一層の努力をしていきたいと思えます。

原稿募集!!

事務局では会員の皆さんから広く原稿を募集し、楽しい会報を作りたいと考えています。

- ☆随筆（六〇〇字前後）
- ☆体験記（六〇〇字前後）
- ☆詩、短歌、俳句、川柳等



出来ばえなど気にせず、どしどしお送りください。投稿をお待ちしています。

◎送り先 各地域生きがい事業団

会員の声

私の第二の人生

幸区 三浦 日朗

サラリーマン生活四十四年、六十二歳で定年退職の日を迎えたのは昭和五十五年六月末日でした。定年後暫くの間は、環境の激変に即座に対応できずに何ともやり場のない虚無感に襲われて、さながら冷凍鮪か粗大芥の如く只々ゴロゴロとしてきたことも為す能わず、終日を無為に過ごすことがしばしばありました。

このように気持がすっかり消極の淵のどん底に追い込まれる悲哀は、その期間に長短の差こそあれ、定年退職者の誰しもが一度は味わされることでしょう。

私は、この環境から何とか抜け出そうと再就職を試み、一縷の望みをかけて職業安定所に何回か足を運びましたが、年齢制限の厚い壁に遮られて適当な求人先はなく、再就職は断念せざるを得ませんでした。

私は、その年の十二月中頃、市政だよりで生きがい事業団の存在を知り、絶望して事業団を訪問しました。事業団では担当職員の方から温かい励ましの言葉をいただき、プツンと切れた糸が繋がる思いで、これからは第二の人生の始まりだと己に言い聞かせ、足どりも軽く妻の待つ我が家へと戻りました。



翌年二月一日に初めての仕事をいただき、期間は二ヶ月でしたが久しぶりで充実した日々を送ることができ、初めて配分金をいただいた時は、新入社員が初月給を手にした時の喜びを、この年で再び味わわせていただきました。事業団に登録してから今日まで満九年を経過しましたが、その間お世話いただいた仕事の内容も製造、販売業等での仕入、販売、在庫管理、原価計算、決算、税務申告、電

算機操作、筆耕、エスカレーター監視等多岐に亘りました。いただく仕事が経理関係が多いので担当職員の方にすすめられ合間を見て簿記の通信教育を受講し、この年で恥ずかしながら五十八年に初めて日商簿記二級に挑戦したところ図らずも合格し、その直後に重電関係の鉄工所をお世話いただき原価計算を二年程経験させていただきました。お世話いただいたそれぞれの仕事を大過なくやり遂げることができましたのも事業団のお力添えの賜と常々感謝しております。

現在は、武蔵小杉駅自由通路部のエスカレーター監視等の業務に隔週勤務させていただき、身障者の車椅子昇降運転と安全管理に従事傍ら筆耕の仕事も併せていただき、お陰様で心身共に健全で毎日が楽しく、社会参加をすることの喜びを実感し、これぞ我が生きがいなりと肝銘しつつ、日々是好日の心境で過しております。暇な折には書道やら下手な油絵を制作したりして独りで楽しんでいきます。これからも体力の許す限り世の為、人の為、そして己が為に事業団にお世話になりつつ社会参加を継続してまいりたいと存じます。

事項 年度別	受注件数(件)				就業 実人員 (人)	就業 延人員 (人日)	就業率 (%)
	公共事業	民間事業		合計			
		公社・ 公団等	企業・ 家庭・ 個人等				
昭和63 年度	556	164	4,876	5,596	705	55,561	47.3
平成元年 4月～9月	279	86	2,604	2,969	621	29,208	39.7

事項 年度別	契約金額(円)				契約金額公民比 (%)
	公共事業	民間事業		合計	
		公社・公団等	企業・家庭・個人等		公共/民間
昭和63 年度	17,223,414	28,134,496	176,152,065	221,509,975	7.78/92.22
平成元年 4月～9月	11,792,940	15,352,480	97,529,644	124,675,064	9.46/90.54

事業実績報告

合計		南部		中部		北部	
男	女	男	女	男	女	男	女
1,119	444	409	138	381	180	329	126
1,563		547		561		455	
本部事務局 川崎区堤根34-1 電話(222)1550		担当地域 川崎区、幸区、 中原区 事務局 川崎市堤根34-1 電話(222)1550		担当地域 高津区、宮前区 事務局 高津区溝口 1096-16 電話(822)5031		担当地域 多摩区、麻生区 事務局 麻生区上麻生 3-22-13 電話(951)1700	



平成元年九月末現在

登録会員数



《理事及び監事名簿》 平成元年五月二十九日現在

役員名	氏名	推薦母体
理事長	保谷三郎	(会社社長・福祉団体役員)
常務理事	岡本圭象	(事務局長・市民生局参事)
理事	斎藤清吉	(川崎市老人クラブ連合会理事長)
理事	荒井猪太郎	(川崎市老人クラブ連合会常任理事)
理事	田島耕作	(川崎市老人クラブ連合会事務局長)
理事	田中利三	(川崎市社会福祉協議会会長)
理事	奥村 榮	(川崎市社会福祉協議会副会長)
理事	原 泰造	(川崎市社会福祉協議会副会長)
理事	佐藤 薫	(川崎市民生委員総務連絡会会長)
理事	三富寿夫	(川崎市民生委員総務連絡会副会長)
理事	大島 保	(川崎市全町内会連合会会長)
理事	竹島與男	(川崎市商工会議所特別顧問)
理事	須見正昭	(学者・政治学・行政学専攻)
理事	袖山隆男	(川崎市財政局長)
理事	元木輝夫	(川崎市市民局長)
理事	笹田 清	(川崎市経済局長)
理事	井澤方宏	(川崎市衛生局長)
理事	森 博	(川崎市民生局長)
監事	大橋為宣	(税 理 士)
監事	石井英夫	(前川崎市収入役)

事務局職員のご案内

事務局長 岡本圭象 ☎ (222) 1550	総務課長 小池 澄雄 ☎ (222) 1550	職 員 野口 実子 渡邊 美佐	
	事業課長(兼) 南部地域所長 渡邊 弘 (川崎・幸・中原区担当) ☎ (222) 1550	職 員 榎本 実彦子 村田 光陽 丹 澤	相談員 (幸区役所内) 八下田 三郎 木村 敬 ☎ (555) 3111(代)
	中部地域所長 渡辺 政仁 (高津・宮前区担当) ☎ (822) 5031	職 員 川島 伸一子 平野 昭一子 武田 功一子 横田 千賀子	相談員 (高津区役所内) 中田 啓一 廣澤 重一 ☎ (833) 3111(代) ----- (宮前区役所内) 金子 敏三 三浦 三郎 ☎ (856) 3138(代)
	北部地域所長 岡田 宗一 (多摩・麻生区担当) ☎ (951) 1700	職 員 市川 賢司子 小泉 桂江正 中野 よし 渡 辺	相談員 (多摩区役所内) 羽鳥 義夫 高久 志郎 ☎ (933) 3111(代) ----- (麻生区役所内) 大堀 雄二 谷口 恒雄 ☎ (953) 3111(代)

事務局からのお知らせ

配分金支払い日について

平成二年一月より十二月までの配分金の支払い日が、左記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

月	日	曜日
一月	十七日	水
二月	十四日	水
三月	十三日	火
四月	十二日	木
五月	十五日	火
六月	十二日	火
七月	十二日	木
八月	十四日	火
九月	十三日	木
十月	十二日	金
十一月	十四日	水
十二月	十三日	木

※事務局の休日は、『国民の祝日』『日曜日』『および毎月『第二・第四土曜日』です。

襖・障子張り講習会参加者募集!!

現在各地域生きがい事業団で、襖・障子張りの仕事に従事されている会員の方を講師に迎え、講習会を行います。

張り方を覚えて自宅で実践されたい方、また、これから仕事として取り組みたいというご希望をお持ちの方は、お誘い合わせになってぜひご参加ください。



日 時 .. 平成二年三月二日(金)

午後一時三十分～四時三十分

場 所 .. シルバー人材センター本部兼

南部事務所 会議室・作業室

募集人員 .. 十五名(希望者多数の場合は

抽選により決定します)

申込方法 .. お住まいの各担当地域事業団

事務所へ電話してください。

申込期限 .. 平成二年二月九日(金)



編集後記

『シルバーかわさき』創刊号はいかがでしたでしょうか。

編集員も初めての紙面作りにとまどいながらも、何とか完成までこぎつけることが出来ました。

今号は当シルバー人材センターの自己紹介にとどまりましたが、次号からは皆さんからの投稿を多く盛り込み内容を充実させ、皆さんと共に歩む会報作りを目標にしていきたいと思えます。

会員皆様さんのご意見、ご要望等をお待ちしております。

会報の題字は、高津区にお住まいになる、会員の森田一郎さんにお願いました!!

